

2020年度 一般社団法人日本臨床化学会 第3回理事会 Web 開催（新旧理事会）

日 時：2021年3月26日（金）15：30～17：00

議 長：前川真人（代表理事）

出席者：前川真人（代表理事）、大久保滋夫、三井田孝、三浦雅一、山田俊幸（以上 常務理事）
植田 成、川崎健治、川野克己、康 東天、小谷和彦、坂本秀生、柴田綾子、菅野光俊、
仁井見英樹、濱田悦子、眞野成康、村上正巳（以上 理事）、戸塚 実（監事）、恵 淑萍、
河野麻理、酒瀬川信一、城野博史、中川沙織、堀田多恵子、吉田 博（以上 新理事）

欠席者：池田勝義、齋藤邦明（理事）、矢富 裕（監事）

新旧理事出席者数 24名（新旧理事数 26名）、全出席者数 25名

議 題

1. 開会の辞（前川 代表理事）

- ・理事総数26名中24名の出席があり理事会は成立した。
- ・代表理事より開会の挨拶があった。

2. 議事録確認者の指名（前川 代表理事）

- ・仁井見英樹 理事、酒瀬川信一 新理事が指名された。

3. 報告事項

1) 庶務報告（山田 庶務担当理事）

①学会会員現状報告

- ・会員数は増加傾向にある。
- ・企業会員は42社である。さらなる獲得のため関連する企業等への勧誘を各理事にお願いしたい。

②事業報告・事業計画

- ・各種会議等は学術集会時に開催され、学会誌は予定通り発行された。
- ・次回理事会・社員総会は6月19日に開催予定である。
- ・学会誌の発行、年時学術集会の予定が報告された。

2) 第60回年次学術集会報告（三井田 第60回年次学術集会長）

- ・会員542名、非会員265名、学生42名が参加したが例年に比べると少なかった。
- ・現地開催ではなくWeb開催となったため、会場のキャンセル料を約130万円負担した。
- ・イブニングセミナーの申込もなく、協賛金集めにも苦労したが、抄録集やポスター類の郵送を止めたことで経費を削減し、最終的には約330万の黒字であった。

3) 第61回年次学術集会準備状況報告（康 第61回年次学術集会長）

集 会 長：康 東天（九州大学大学院医学研究院 臨床検査医学 教授）

副集会長：内海 健（九州大学大学院医学研究院 保健学部門 教授）

会 期：2021年11月5日（金）～7日（日）

会 場：福岡国際会議場（〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1）

テ ー マ：臨床化学の未来図

- ・コロナが収束していたら、質素でも懇親会を実施したい。
- ・国際学術セミナーセッションについては、これまで年次学術集会長が招待を希望する海外の先生、または協賛企業で海外に詳しい方に依頼していた。必ず実施するというものではないが、国際交流委員会でサポートしていく。

4) その他（前川 代表理事）

①第68回日本臨床検査医学会共催シンポジウム

- ・今回はPOCT専門委員会に企画をお願いした。
- ・今後は学術連絡委員会に担当を依頼し、事前に準備を進めておく。

②IFCC Medical Laboratory Professionals Week（坂本 理事）

- ・APFCBより動画提供の依頼があり、国際交流委員会を通じて、藤田医科大学に企画協力の依頼をした。

IFCC からトピックスとして COVID-19 を入れて欲しいとの要望があったこともあり、藤田医科大学で導入された PCR 検査のコンテナ形の自動測定装置の紹介用に 90 秒程度の動画を作成予定である。

③Zoom 契約（前川 代表理事）

- ・現状では Zoom で会議を行う際、事務局のアカウントを利用して設定している。今後も Web 利用の会議や委員会を実施していく必要があるため、学会で Zoom 契約をしてはどうかという提案があり承認された。ウェビナーではなく、ミーティングでの契約とすると月 2,000 円程度の経費で納められる。
- ・100 人以上のウェビナーなど、支部単位で使用する場合は各支部で単発契約をしていただく。

4. 協議事項

1) 2021 年度役員について（三井田 新代表理事）

①代表理事指名理事、②理事会務担当

- ・代表理事推薦の理事ならびに理事の担当について報告があり承認された。
- ・三井田先生の代表理事就任により、庶務担当理事（任期：2019 年度～2022 年度）の枠が空いてしまう。そのため、今回のみ山田理事、吉田理事の 2 名に就任を依頼した。
- ・教育担当であった池田理事が体調不良にて辞任されたため、濱田悦子理事に任期を 2 年延長していただくことが提案され承認された。

2) 評議員推薦（前川 代表理事）

- ・各支部に推薦を依頼し、候補者を選出した。
- ・細則第 22 条では、評議員候補者の条件として「認定臨床化学者または臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師もしくは臨床化学・免疫化学精度保証管理者であること」となっているため、候補者のうち資格未取得者には取得していただくよう働きかける。

3) 委員会委員について（三井田 新代表理事）

- ・委員の辞任や役職交代などに伴い、常置委員会の委員交代や新規委員の推薦があり承認された（別添資料参照）。

4) 若手育成委員会設置について（三井田 新代表理事）

- ・年次学術集会時に YIA シンポジウムと学生シンポジウムは実施しているが、学会の今後の発展のためにも若手を育成していく必要がある。若手育成を目的として、あり方検討委員会の下に“若手育成委員会”を設置する。
- ・小谷和彦先生に委員長を依頼し、委員の選出も含めて、若手育成のための教育などについて検討していただく。

5) 利益相反調査方法変更について（植田 法務担当理事）

- ・昨年度まではメールでの書類送付としてきたが、Web から入力できるようフォーマットを作成した。
- ・昨年度の調査で 2 年間回答のない方 11 名に書面を送付した。4 名からは回答があったが 7 名は回答がなかった。
- ・日本医学会は 6 月に COI に関するガイドラインを作成する予定とのこと。透明性が必要なものであるため、本会でもしっかり取り組むべき課題である。提出しない方への対応をどうするのかなど、今後理事会で検討していく必要があるという意見があった。

6) IFCC ならびに APFCB への情報提供について（前川 代表理事、坂本 国際交流担当理事）

- ・現在、IFCC や APFCB から届く原稿依頼を受け、国際交流委員会から該当する方に原稿を依頼し、学会賞（学術賞・奨励賞・技術賞・論文賞）受賞報告（IFCC eNews）や、年次学術集会報告（APFCB News）を投稿しており、今後も継続する予定。

7) 会則改定案について（前川 代表理事）

- ・評議員の選任は、細則第 24 条 5 では「候補者は、理事会及び評議員会で審査し、会員総会の承認を得る。」となっている。そのため、この規約では年会時の会員総会まで評議員就任が正式には承認されないことになる。運営上は 4 月から活動が始まっているため、細則を下記のように変更したい旨提

案があり承認された。今後はメール理事会等で事前に理事会承認を得て、社員総会にて正式に決定する。ただし、運営上は4月から活動開始となるため、委嘱状送付や学会ホームページでの名簿公開は4月に実施する。

改定案：第24条5 候補者は、理事会で審査し承認を得て、社員総会の決議を経て選任される。

5. その他（前川 代表理事）

① 企業会員への入会依頼について

・ 会員数を増やすためには、理事の協力が不可欠である。本会に関連する企業の勧誘をお願いしたい。

② 次回理事会・社員総会日程

・ 2021年6月19日（土）午後、webにて開催予定。

③ 役員登記

・ 社員総会後に役員登記を実施する。

④ 学会誌について

・ 前回の理事会で、紙媒体の学会誌を廃止することが決定している。会員、購読先、広告企業等への通知を徹底する。第50巻第4号（2021年10月発行）に、冊子廃止に関する通知予定。

・ 広告企業はバナー広告へ移行してもらうよう依頼する。

・ 今後の作業については、常務理事会と編集担当理事・編集委員会を中心に検討していく。

⑤ 役員区分について

・ 昨年の選挙時に、区分の不明確さが指摘された。常務理事会にて新案を作成し、6月の理事会にて審議依頼をする予定。

以上

2021年4月19日

議長

前川真人



議事録確認者

酒瀬川信一



議事録確認者

仁井見英樹

